

## 高圧水素ガス用ホース「ibar HG35」を共同開発 低透過性能かつ取扱性能に優れた高耐久を樹脂ホースで実現

横浜ゴム株式会社(本社/東京、社長/南雲 忠信)は、岩谷瓦斯株式会社(本社/大阪、社長/山崎 武徳)と共同で、低透過性能・取扱性能に優れた樹脂ホースを開発し、名称を「ibar HG35(アイバー・エイチジーサンゴー)」として両社より販売を計画しています。本ホースは、横浜ゴムの保有する高圧ホース製造技術と、岩谷瓦斯の保有する工業ガスハンドリング及び評価技術を融合し、研究を重ね完成させたものです。従来の樹脂ホースに比べ、低透過性能と取扱性能及び耐久性の向上を図ったのが特徴です。

横浜ゴムは、高圧水素ガス用ホースに関し平成15年～16年度の NEDO の委託研究として、「水素インフラ用可撓性配管開発」を受けて、構造開発と低圧水素ガスでの評価を行い、岩谷瓦斯での実際の高圧水素ガスでの実証研究を行い完成に至りました。

水素のフレキシブルな耐圧管は、これまで金属フレキ管もしくは樹脂製ホースが使用されてきましたが、金属フレキ管は取扱性能及び耐久性に、樹脂製ホースは高圧気密性能に課題があるといわれてきました。今回の開発ホースはその課題3点を改良するものであり、35MPa 級水素ステーション用の水素ガス供給用ホースや水素を含む高圧ガス設備における使用が可能となります。

両社は、本技術をベースとして、70MPa 対応ホース、水素溶断用ホース、産業用水素ホースの開発を進め、更に高気密性能の特徴を生かした高純度ガス用機器など、水素・高純度ガスを中心とした高圧ガス用ホースの商品を本格的にラインナップして行く計画です。



ibar HG35

### このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム株式会社 広報部 担当:多勢 池田 TEL:03-5400-4531  
岩谷瓦斯株式会社 技術部 担当:岩田 TEL:077-582-6505

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-3432-8430